

循環バス運行計画（案）に対する パブリックコメント募集結果について

12月21日から1月11日までの3週間にわたり「循環バス運行計画（案）に対するパブリックコメント（意見公募）」を実施した結果、5名10件のご意見をお寄せいただきましたので、それらの要旨と意見対応について公表します（安平町ホームページ内の「パブリックコメント」のページに2月5日より公表しているものと同内容となります）。

ご意見を踏まえた循環バスの運行計画（運行時刻・停留所・運賃・乗降の方法など）の詳細は、3月に全戸配布する総合時刻表や広報紙面でお知らせします。

- 意見対応**
- ①意見を反映するものまたは既に反映しているもの 3件
 - ②意見の一部を反映するもの 1件
 - ③平成31年4月の運行開始時には反映はしないが、今後の検討の参考とするもの 4件
 - ④その他 2件

意見等の要旨	分類	意見等の対応
新しいバスの名称について、「安平町内の遠浅・早来・安平・追分地区を一つにして一緒に盛り上げよう」「良い町にしていこう」は、町民みんなの願いでもある。復興元年の新しいバス運行でもあるので、「安平ふれあいバス」とすべきである。	③	名称については、言葉の短さ、わかりやすさを重視し、「循環バス」を名称とします。ご意見のように、名称に新たな工夫を求める気運が高まれば、今後、愛称を公募することを検討します。
共通回数券について、地震で被災した町民に対してまだまだ十分な支援が行き届いていない状況にあり、その町民の負担を軽減するためにも、また地域の活気を取り戻すためにも「13枚綴りを2,000円で販売（1枚約153円）」すべきである。バス、デマンドバス、ハイヤーなどの利用促進にも有効だと考える。	③	運行開始時は、通常の共通回数券を「11枚綴り（＝プレミアム率1割）」に設定し販売しますが、ご意見のように利用促進策の有効性・重要性は認識しておりますので、運行開始後に、例えば鉄道あるいは商店街等との相乗効果をねらった連携事業として、プレミアム率の高い共通回数券の販売などを検討していく考えです。
安平町は、子育て世代を応援しており、幼児、小学生、中学生などに配慮した地域公共交通を実現するためにも、運賃を無料化すべきである。	③	鉄道やデマンドバスなど、他の公共交通運賃やサービスとのバランスを考慮し、循環バスの1回乗車あたりの運賃は、大人及び中学生は200円、小学生は100円、幼児は無料とする考えです。
バスなどを利用しない理由の分析や乗り方説明などの工夫、小学校への出前講座を積極的に行うなど、地域公共交通存続に向けた実効性ある対策を期待します。	①	平成29年5月に策定した安平町地域公共交通網形成計画において、ご意見のような利用促進策の実施を掲げており、循環バスだけに留まらない、公共交通全体の利用促進策を実施していきます。また、近隣自治体や交通事業者との連携による取組も検討しているところでありますので、具体的な実施計画がまとまりましたらお知らせします。
秋から冬にかけて、あつまバスの「明春辺」のバス停を利用していますが、あつまバス安平循環線に替わるこの循環バスには、明春辺のバス停が設定されていません。夏は雨の日以外は自転車で仕事に通っていますが、できることならバスを利用したいのでお願いします。	④	循環バスは、大きく地区を跨ぐ移動目的のための公共交通として位置づけており、将来にわたる公共交通の維持確保のためには、役割分担を図ることによる共存が必要なため、追分地区内での移動はデマンドバスやハイヤーをご利用いただくようご理解をお願いします。なお、同一エリア内での移動利便性の向上を目指し、今後デマンドバスの改善にも努めます。